

OECD/NEA および世界各国の原子力規制当局の皆さまが 福島第一原子力発電所をご視察されました。

2022年11月27日、OECD/NEA（[経済協力開発機構原子力機関※1](#)）および、アメリカ、カナダ、スイス、スペイン、フィンランド、フランスの原子力規制当局の皆さまが、廃炉の進捗状況を確認するため、福島第一原子力発電所をご視察されました。視察では、1～4号機を俯瞰できる高台から、廃炉の状況を間近でご確認いただいた後、実際に、4号機の建屋内部に入り、建屋の損傷状況などをご視察いただきました。増設ALPS（多核種除去設備）、K4タンク群、ALPS処理水海洋放出工事エリアなどのALPS処理水関連施設※2,3、その他、大型廃棄物保管庫等の廃棄物関連施設※4など1日で各国の原子力規制当局の方々に、福島第一原子力発電所の多くの施設をご視察いただきました。

今後も、長期にわたる廃炉作業を、国際的な安全基準や科学的根拠に基づき、安全かつ着実に進めてまいります。

※1 OECD/NEA（外務省 HP）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/atom/oecd_nea.html

※2 廃炉プロジェクト -汚染水対策の状況-（当社 HP）

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watermanagement/>

※3 処理水ポータルサイト（当社 HP）

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>

※4 廃炉プロジェクト -廃棄物対策-（当社 HP）

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/waste/>



視察前の説明会



1～4号機外観を高台より視察



4号機内部



増設ALPS



K4タンク群



大型廃棄物保管庫